

★☆☆親切に、丁寧に、几帳面に、勤勉にありがとうと喜ばれる人になろう。★☆☆

# CR 社内報《No.101》

## ～産業化のためのチェーンストア志向～

2008年3月17日

(有)カトルームコーポレーション

社内報編集室

### 社長報告

#### ●ホームページのアップスケール●

3月1日からホームページを※アップスケール(※脱皮する。毛虫が蝶になるという意味)しました。従来はカトルームの手作りホームページでしたが、今回はアウトソーシングにより作成いたしました。アップスケールの目的は「採用の強化」です。より深くカトルームのビジョンや価値観を知ってもらい、その上で応募してもらおう。そして個人の夢と会社の夢のベクトルをあわせ、その夢の実現を目指して共にチャレンジしようとする出会いの接点とする宣伝媒体としてホームページのアップスケールを実施しました。アウトソーシング先はウェブオンラインという会社です。この会社の鈴木社長(南陽市出身)の人柄に惚れました。どうせ長い付き合いをするのなら「大きな夢をもつ社長」がいいと思います。作りっぱなしのホームページでなく、コツコツと研磨し続ける地味なホームページでありたいと思います。内容は採用中心のホームページで会社案内と人材募集の2部構成にしてあります。顧客向けのホームページではなく、あくまでもリクルート重視のホームページです。内容も直球勝負で浮ついた「楽しい会社です」的な内容は一切ありません。

なぜ採用の強化なのかというと、カトルームの成長性を支える根底が人財であるからです。より優秀な人材の採用がお客様のサービスに寄与し、カトルームファンが増える。カトルームのシステム云々という前にお客様にサービスを提供する対象は生身の人間で、100%機械化はできないサービスがカットサービスなのです。もっとも人間くさいサービスの一つかもしれません。だから零細企業中心の家業がなりたっているのだと思います。カトルームはこの暗黒大陸と呼ばれる零細な理容美容業の世界を産業とよべる世界に変えたいと思っています。そのためには産業化を支える多くのスペシャリストやテクノクラートと呼ばれる専門家が必要となります。その接点がホームページであると思っています。そしてホームページはパソコンより携帯へのアクセスを重視して開発してあります。それは日本ではパソコンより携帯が今後ますます便利なツールとして発展していくと思われるためです。グーグルで「カトルーム」と検索すると1ページの上に掲載されています。早いうちにトップになるようウェブオンラインさんには依頼してあります。そして今回から社報も100番台としてホームページに掲載することとしました。理由は社外の人にもカトルームをより深く理解してもらうためです。